



令和 7 年度

事業報告

社会福祉法人 不二健育会

特別養護老人ホーム ケアポート板橋
ケアポート板橋 短期入所事業
舟渡高齢者在宅サービスセンター
舟 渡 ヘルパーステーション
か も め の 家
東坂下高齢者在宅サービスセンター
板橋区舟渡おとしより相談センター
舟渡居宅介護支援事業所

目 次

社会福祉法人 不二健育会 <http://fujikenikukai.or.jp>

事業報告(全体)	3
特別養護老人ホーム ケアポート板橋・ショートステイ	4
舟渡高齢者在宅サービスセンター.....	19
舟渡ヘルパーステーション	25
かもめの家	28
東坂下高齢者在宅サービスセンター	31
板橋区舟渡おとしより相談センター(介護予防支援)	36
舟渡居宅介護支援事業所(居宅介護支援)	40

令和7年度は地域包括ケアシステムの実現にむけた4つの柱に対し、1年後の姿の目標を掲げ実践して参りました。「自立支援・重度化予防」に対し、感染症蔓延防止のためのスタンダードプリコーションの徹底及び、スライディングシートやDXの活用による効率化と職員の負担軽減。「地域包括ケアシステムの進化・推進」ではIPをリニューアルし、SNSの活用を進めております。また、地域包括圏域の小中学校出前授業の継続及び委託業務の評価が向上し、来期の業務委託費は4,872千円増の評価を頂くことができました。「制度の安定性・持続可能性の確保」では、BCP(事業継続計画)に基づく防災訓練や東京 DWAT への加盟など、経営支援補助金における努力加算の取得に繋げております。「良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり」では、職員情報を一元管理する「タレントパレット」の運用にて、順次紙ベースからデータベースへの作業へ移行して参りました。研修レポートは作成・集計が効率化され、残業時間の削減や提出率 100%となり、感謝を伝え合う仕組みであるサンキューレターは昨年度対比、3,771 件も増加する効果を生むことができました。

職場環境改善における新たな福利厚生での取り組みでは、「チケットレストラン」を任意導入し、昨今の食材費高騰に対する補助(職員 2 千円給与天引きし、同額を法人負担)を行いました。加盟率は 73%。半年間で 1,156 千円の法人負担となりましたが、多くの感謝の言葉が聞かれ職員満足度は向上しております。結婚祝い金は 3 名活用の 900 千円、出産祝い金は 600 千円と、ライフイベントを迎える職員が多くおり、結婚・出産、子育てを行いながらであっても、安心して就労し続けることができる環境を、作ることができました。

1. 財務の視点としては、サービス活動収益 1,144,083 千円(補助金含む)。予算比 19,023 千円の減。東坂下拠点単体におきましては GH の後半稼働安定、通所介護の通年安定稼働により、前年比 10,041 千円増と東坂下拠点として、単年黒字となりました。
2. 組織管理の視点では、哲学に基づいた風土浸透の為、出勤時のタイムカード打刻時に「お世話になります」と関わる職員・法人に対し感謝を伝えることを全職員付け加えると共に、労働安全の観点より朝礼前のラジオ体操を定着させました。また、スモールミーティングを重ね、現場職員が一人ひとり法人に貢献することにより、ご利用者の心を豊かにする Ourteam 経営を意識し運営して参りました。
3. 利用者満足の視点では、ご家族直接面会、年間延べ 1,221 家族(昨年比+99 名)、1,676 名(昨年比+126 名)のお受入れとなりました。施設内の様子や取り組みをお伝えする施設 blog は、376 アップと毎日更新することができ、延べ 58,169 件の閲覧を頂いております。本年は物価及び食材費高騰が著しく販管費が嵩みましたが、1 食当たりの単価は予算 300 円に対し 294.8 円と、予算範囲内に抑えることができ質の調査としての喫食調査におきましては目標 85%に対し平均 86.2%と、質を落とすことなくご満足いただける結果となりました。
4. 人材の視点では、新卒 3 名を獲得すると共に、EPA 介護福祉士ネットワークによる職員紹介にて、4 名の獲得を実現し、その他職員紹介にて補充を行い、運用することができました。離職率 7%目標に対し 9.9%の結果。常勤においては 10 名の 8.3%の結果であり、介護職が 8 割を占めております。
5. 職場環境改善への取り組みでは、有給取得率は全体合計で 75.5%の取得、1 人当たりの残業時間につきましては 3 時間以内の目標に対し 3 時間 49 分平均と、目標達成はできませんでしたが、業務時間内での会議体実施や業務終了後の残業管理にて、前年度差異 41 分平均の削減に繋げています。また、コロナ禍で休止していた職員忘年会を、栄養課及びキッチンカーコミュニティの協力にて開設初めて施設内で実施し、職員の子供 23 名を含む計 107 名の参加。遅番者及び夜勤者へは仕出し弁当を配布し、経費を抑えながらも創意工夫で満足度の上がる取り組みとなりました。
6. 危機管理としましては、COVID-19 による施設内感染が 2 度発生。計ご利用者 14 名、職員 2 名の罹患となりました。また、年末にインフルエンザ A の感染による蔓延が 3 度、計ご利用者 29 名、職員 1 名の罹患となりました。スタンダードプリコーションの実施は定着しておりますが、蔓延防止策が継続課題となります。

【特養部門】

特別養護老人ホーム ケアポート板橋

(介護老人福祉施設)

(1) 特養部

令和7年度は「予算数値目標の達成」「各フロア、多機能施設の強みを活かしたイベントの実現」「主体的に専門職として働ける組織づくり」の3本柱を掲げ、今まで作り上げてきた基盤を更に強化して参りました。運営面では、43名の退所者がおり、コンスタントに入所を進めていたが、穴埋めする事ができず、また年間延べ26名628日の入院による空床を発生しており、ショートステイで空床を埋めていったが、予算達成は出来なかった。措置入所は期中3名の受け入れを行い「どんな依頼も受け入れる施設」を実現しています。

「各フロア、多機能施設の強みを活かしたイベントの実現」においては、各フロア栄養課と協働し、食事イベントを1.2カ月に1回以上実施する事ができ、ご利用者も楽しまれた様子でした。また、接触嚥下の勉強会も特養職員が講師となり、デイサービスの職員にも伝達研修を行っております。

「主体的に専門職として働ける組織づくり」については、積極的に各個人が外部研修に参加し、自身のスキルアップを図りました。7割程の職員は参加する事ができたが、3割程に職員は何を学びたいのか見つけ出せず、不参加となってしまった。また、外部研修後のアウトプットも普及しておらず、全体に伝える事ができなかった為、来期はさらに学べる機会と伝達研修の場を広げていきたいと思っております。

1.月別入所・退所・入院・退院数

月	前月末 在籍数	利用者数		入 所		退 所		入 院		末日 在籍数	利用延 日数	平均利 用者数	前年度	
		男	女	男	女	男	女	男	女				延数	平均
4	107	19	87	1	1	1	1	1	4	106	3184	106.1	3141	104.7
5	106	18	82	1	2	2	7	0	3	100	3128	101	3279	105.8
6	100	19	84	2	5	1	3	0	3	103	3034	101.1	3131	104.4
7	103	18	86	0	3	0	1	1	0	104	3185	102.7	3263	105.3
8	104	19	87	2	1	1	0	0	1	106	3265	105.3	3247	104.7
9	106	19	86	1	1	1	2	0	1	105	3152	105.1	3126	104.2
10	105	18	83	1	2	1	4	3	4	101	3179	102.5	3178	102.5
11	101	19	83	1	5	1	7	0	0	102	3056	101.9	3056	101.9
12	102	17	80	0	2	2	4	0	2	97	3104	100.1	3223	104
1	97	20	85	2	6	0	1	0	1	105	3177	102.5	3164	102.1
2	105	19	87	1	2	1	0	1	1	106	2940	105	2879	102.8
3	106	19	87	0	1	1	1	0	0	106	3268	105.4	3262	105.2
合 計	103.6 (平均)	17.9%	82.1%	12	31	12	31	6	20	103.4 (平均)	37672	103.2	37949	104
		男女割合		43		43		26						

2.利用者区別割合

区市町村	男	女	計	前年
板橋区	13	51	64	55
北区	4	22	26	29
豊島区	2	11	13	18
文京区	0	1	1	3
他区(練馬区)	0	3	3	2
計	19	88	107	107

3.退所理由

項目	男	女	計	前年
死亡(施設内)	9	24	32	20
死亡(病院)	2	3	6	2
家庭復帰	0	0	0	0
他施設入所	0	1	1	1
入院	1	3	4	5
計	12	31	43	28

4.フロア別介護度状況

フロア/介護度	1	2	3	4	5	計	前年
2F	2	0	5	5	4	16	17
3F	1	0	4	20	4	29	28
4F	1	3	7	14	6	31	31
5F	0	3	7	13	8	31	31
計	4	6	23	52	22	107	107

5.年齢及び男女構成比

年齢	男	女	計	前年
64～69	2	0	2	2
70～74	1	3	4	2
75～79	5	4	9	11
80～84	1	14	15	19
85～89	7	28	35	37
90～94	1	21	22	24
95～99	2	16	18	13
100～	0	2	2	1
計	19	88	107	99
最低年齢	64	71		—
最高年齢	95	104		—
平均年齢	82.3	88.3	87.3	87.4

6.介護度別状況と五年間の変化

	支	1	2	3	4	5	計	平均
R3 年度	0	0	2	19	53	33	107	4.1
R4 年度	0	0	3	21	39	36	99	4.1
R5 年度	0	0	3	17	50	37	107	4.1
R6 年度	0	3	6	14	52	32	107	4.0
R7 年度	0	4	6	23	52	22	107	3.8

7.認定調査実施状況

行政	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
板橋区		1	1	1	2	2	2	2	1	3	3	1	6	25	12
北区		1	3	1	1	2	0	3	1	1	0	0	1	14	14
豊島区		0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	2	0	6	5
文京区		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
練馬区		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
合計		2	5	3	4	5	3	5	3	4	3	3	7	47	31

8.ケース会議実施(施設介護サービス計画作成)

項目	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
会議実施		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	42
ケース会議		12	13	16	11	18	13	15	15	17	19	18	16	183	218

(5)年間行事・地域交流

月	日	行事・地域交流	利用者	家族参加	ボランティア	職員
4	2 日	花見外出	105			17
5	18 日	春の遠足(川口グリーンセンター)	26		9	16
8	1 日	納涼祭	117	32	50	40
	15 日	施設内花火大会	35			4
9	15 日	敬老祝賀会	121	45	15	40
10	27 日	秋の遠足(洋服買い物)	30	1		8
11	16 日	運動会	45			6
12	14 日	年忘れお楽しみ会	115	28		30
1	11 日	餅つき	115			4
2	3 日	豆まき	120			4
計			829	106	74	169

(6)クラブ活動

クラブ活動等参加状況

内容	回数	平均参加者数	講師・ボランティア	利用者負担
・書道	月 2 回	25 名程度	有	無
・月 2 回、講師を招き季節に合わせた題材を集中して完成させる。作品はフロア内掲示				
療育音楽	月 2 回	50 名程度	有	無
・音楽療法士が根拠を基に音楽を通して心身の健康やリラックス効果を生む新たな活動				
フラワーアレンジ	月 1 回	30 名程度	無	材料費500円
・季節に合わせた花々を、自分の好きな様に活かしている。作品は居室や食堂に飾られ季節感を味わう事ができる。				
喫茶	月 1 回	30 名程度	有	お菓子代実費
・数種類のケーキの中から好きなものを選ぶことができる。極刻みの方はゼリーを提供				
アロママッサージ	月 2 回	30 名程度	無	無
・アロマオイルを用いたマッサージを行い、リラックス効果を狙う				
塗り絵	月 1 回	50 名程度	無	無
・季節感を味わって頂くことや、色彩・鉛筆を持つ機会等、日常生活動作の維持としても活用している。				
カレンダークラブ	月 1 回	30 名程度	無	無
・指先を使い、自分の思い描いた物を形にしていき、翌月のカレンダーを作成				
若返り	月 4 回	20 名程度	無	無
・マニキュアや化粧を行い、おしゃれを体感して頂き、満足度を向上している。				
施設内お菓子販売	月 1 回	30 名程度	無	実費
・業者協力のもと、施設内でお菓子やお惣菜を自己選択、自己決定し購入している。				
散歩	月 5 回	10 名程度	無	無
・近隣まで外気に触れる機会を作る				

インドネシア文化	月 1 回	15 名程度	無	無
・インドネシア出身の職員による、インドネシアの言語、文化を伝えるクラブ				

今年度も『毎日クラブ』を目標に掲げ、ご利用者のやりたい事を活動へ転換してきました。

(7) 各種委員会

< 食事検討委員会 >

管理栄養士がミールラウンドやご利用者・職員から意見をくみ取り、「やわらか食」という新たな食形態を提供する事ができた。その結果喫食率は 90%以上と目標数値を達成する事ができた。

また、ご利用者満足度向上の為、午後ティクラブの内容やクマパンクラブの内容をリニューアルし、食に対する楽しみが増え喜びの声も聞かれ、笑顔も多く見られています。

< 口腔ケア委員会 >

往診歯科 3 社の協力を得て、個別ニーズに合わせた歯科を選定し対応して参りました。ミールラウンドでは、多職種が専門性を活かした視点で観察し、嚥下状態、食事姿勢、食形態の変更、口腔ケア方法等を改善し、個別ケアを図ったことで、経口維持に努める事ができた。また、ご利用者の体調や嚥下状態により、どうしても必要量を召し上がれない方に対して、ハーフ食の基準を決め、栄養状態の確保に努めてまいりました。

< 入浴検討委員会 >

委員会では「入浴拒否改善計画書」を基に、入浴拒否される方を各フロア 1 名ピックアップし、拒否される原因を追究し、対策を講じてきました。その結果、5 名の方が拒否される要因を取り除き、快適な入浴を提供する事ができました。

< 排泄委員会 >

ユニチャームの協力を得ながら、衣類汚染される方の要因を追究し、尿量やオムツの当て方、交換頻度、陰洗方法等を改善し、快適なオムツ装着環境に努めていきました。その結果、衣類汚染される方が減少し、オムツ費も予算計上内に収める事ができた。

< 皮膚トラブル防止委員会 >

委員会では褥瘡予防改善を各フロア 1 名以上ピックアップし、多職種が意見を募り、ベッド臥床時の除圧、座位時の姿勢改善、スライディングシートを使用する摩擦軽減、保湿等の改善を努め、再発防止を徹底的に取り組んでまいりました。その結果、褥瘡発生はありましたが、14 日間で治癒する事がほとんどでありました。来年度も予防策を中心に委員会を進め、褥瘡再発ゼロを目指していきたいと思っております。

< レクリエーション委員会 >

『毎日クラブ』の充実を図る為、新たに「ゲームクラブ」と「カラオケクラブ」を追加し、ご利用者の満足度の向上を図りました。また、季節に合わせた行事についても、ご家族様がその様子をわかるように、フロア内に写真を掲示しています。今後も、施設内の生活が活性化できるように、目指して参ります。

< 拘束ゼロ委員会 >

拘束ゼロを継続しております。毎月委員会にて進捗を確認しております。年度初期に各ベッド柵、マットセンサー、離床センサーを再確認し、ご利用者が不自由のない環境も整えました。また、接遇の向上の一環として、離床

後の布団整理も意識付けに行っております。

<広報キャラバンメイト委員会>

舟渡包括と連携し、近隣の小学校、中学校に出向き、出前講座を実施しています。高齢者、認知症の理解を、地域を巻き込みながら実施しました。また、広報誌は2カ月に1度、ブログは週に1回アップし、日常的なご様子をどなたでも閲覧できるようにしています。

<労働安全対策委員会>

今年度もストレスチェックや、職員健康診断とともにメンタルヘルスに着目した。職場環境の安全衛生の面からも、職員の健康面からも大きな問題はありませんでした。今後も施設における職員の安全と健康が確保できるよう、快適な職場環境になるように委員会を進めて行きたいと思います。

<医療的ケア安全対策委員会>

医療的ケアを安全に行うためにも職員との連携が重要となっており、委員会、指導看護師の役割は重要です。特にたん吸引に関しては、介護職員の確実な施行がご利用者の安全のためにも最重要となるため、主として新人・新入職員4名に対しての指導に重きを置いての活動を行いました。

課題としては、今後さらに体制を整え、必要時に職員全員が確実に行えるよう、各フロアリーダーと連携を図り指導方法をさらに具体的に計画的に行えるよう、教育のシステム作りを再構築していく必要性があります。今後も介護・看護職員の連携・協働にてご利用者に対して提供するケアが安全に確実に行えるよう環境を整え、ご利用者が安心して医療的ケアが受けられるようにさらなる技術の向上を目指して委員会を活用していきたいと思います。

<感染症対策委員会>

新型コロナウイルス感染症対策マニュアルを講じて参りましたが、令和7年7月に3階フロアで利用者1名、職員1名、8月に5階フロアで利用者13名職員1名のクラスターが発生してしまいました。また12月1日には、2階3階でインフルエンザが拡大感染してしまいました。感染対策を講じて約10日間で鎮静されたが、ご利用者、ご家族、関係各所の皆様に多大なるご心配を掛ける形となり、改めて感染の脅威を感じました。

<リスクマネジメント委員会> 委員長 小西 誠之

今年度のレベル3以上の事故は6件(転倒・転落による骨折事故)で、前年比と同等でした。骨折事故に対して、うち4件が夜間帯の事故であり、直前防止策等の対策を講じるのは難しい為、損害軽減策のクッション入りパンツの着用、超低床ベッド等の対策を講じる事が先決と考える。また、防災については、年2回の防災訓練を実施しておりますが、BCPのマニュアル作成、災害初動時のフローチャートを作成し、災害時に落ち着いて行動できる環境を整備しています。

○事故発生件数

所属部署	2F	3F	4F	5F	計
事故内容	件数	件数	件数	件数	件数
転倒	8	14	12	7	41
転落	20	20	14	15	69
剥離・出血	2	4	9	6	21
誤嚥	0	0	1	0	1
異食	1	0	1	0	2

破損・紛失	0	6	2	2	10
服薬関係	1	5	3	5	14
離所・無断外出	1	0	0	0	1
忘れ物	1	1	1	3	6
内出血・打撲	5	6	4	12	27
加害行為	0	0	0	0	0
訪問忘れ	0	0	0	0	0
連絡ミス	0	0	0	0	0
配膳ミス	1	0	0	0	1
異物混入	0	0	0	0	0
発注ミス	0	0	0	0	0
その他	0	0	2	3	5
合計	40	56	49	53	198

○インシデント発生件数

所属部署	2F	3F	4F	5F	計
介護詳細	件数	件数	件数	件数	件数
異食	0	0	0	1	1
離所	0	0	0	0	0
転倒	1	0	0	3	4
転落	0	8	0	6	14
誤嚥・誤飲	0	0	0	0	0
与薬	2	5	9	7	23
その他	1	1	2	3	7
合計	4	14	11	20	49

(8)施設内研修

月	内 容	担 当 者
4	事業計画・法令順守・倫理・ハラスメントについて	施設長
	来ていますか？情報・プライバシーの保護	学研介護サポート
	新人研修プログラム	各部門長
5	食中毒を防止しよう！（感染）	学研介護サポート
6	ソフト面とハード面から考える転倒予防 （身体拘束含む）	学研介護サポート
7	もしもに備える災害対策（BCP）	学研介護サポート
8	介護現場で考えたい倫理	学研介護サポート
9	高齢者介護における必要な医学知識 ～運動器編～	学研介護サポート
10	介護現場の接遇・マナー（虐待防止）	学研介護サポート
	事業計画中間報告会	施設長

11	管理者が知っておきたい医療と介護の連携 (緊急時)	学研介護サポート
12	認知症の利用者の感染症・衛生管理 ～ノロウイルス感染症を中心に～	学研介護サポート
1	介護施設での看取りを考える (精神的ケア含む)	学研介護サポート
2	虐待・身体拘束に向けて	学研介護サポート
3	管理者が知っておきたいリスクマネジメントの基礎 わかる！介護施設の BCP	学研介護サポート

学研介護サポートへの参加率 100%標準化を目的とし、施設内勉強会の頻度は最小限と致しました。人員不足の中、業務と学びのバランスを考えて実施することで、e-ラーニングは定着したと思われます。

(9) 令和 7 年度実習生受け入れ状況

介護基礎実習	学校名	延べ人数	実習日数
介護職員実務者研修	都立中央・城北職業能力開発センター	8 名	16 日間
介護福祉士	日本福祉教育専門学校	4 名	60 日間
	文京学院大学	5 名	86 日間
栄養士実習	東京家政大学	6 名	30 日間
看護師施設実習	帝京高等看護学院	8 名	24 日間

今年度も、根拠ある介護を基に実践を通した実習内容展開していきました。実習生、学校側からも高評価を受けております。

(2)ケアポート板橋(ショートステイ)

令和7年度は昨年度まで積み上げてきた信頼を継続すると共に、特養併設ショートステイを活かした運営を目指してまいりました。

運営面では稼働日平均 15.3 人の目標を掲げてまいりましたが、予算を超えた月は3回のみで結果稼働日平均 15 人、平均在籍数 13.4 人と予算を下回る結果となりました。長期利用されるリピーターの方の終了が相次ぎ、新規受け入れを行うも利用日数の差が大きく、その補填が難しかったのが要因でした。

昨年度同様、個別支援ニーズに対してもご利用者、ご家族より利用中に行い事、やって欲しい事などを伺い、個別の外出や自費のクラブ参加、送迎時間への柔軟な対応や通院同行、往診対応などを行うことで高評価を頂きました。また、担当ケアマネージャーへご利用中の様子をタイムリーに伝える事で、施設評価はもちろんですが、継続利用や、新規利用希望者の相談に繋がることができました。

介護度別利用実績

<実利用者数>

月/介護度	予防	介 1	介 2	介 3	介 4	介 5	送迎利用者数	合計	前年度 合計
4	0	3	8	13	13	12	98	49	47
5	0	2	7	14	10	13	91	46	46
6	0	1	5	13	11	14	91	44	46
7	0	0	6	12	10	12	87	40	45
8	0	0	8	13	8	12	84	41	41
9	0	0	5	14	11	12	79	42	41
10	0	1	8	12	12	12	83	45	45
11	0	2	9	12	12	11	92	46	46
12	0	4	7	10	11	10	78	42	46
1	0	2	7	10	11	10	73	40	40
2	0	1	6	8	9	10	66	34	39
3	0	1	8	9	9	10	79	37	43
合計	0	17	84	140	127	138	1001	506	525

<延べ利用日数>

月/介護度	予防	介 1	介 2	介 3	介 4	介 5	合計	1 日 平均	空床利用	利用率	前年度	
											合計	1 日 平均
4	0	24	37	143	148	151	503	16.8	12	112%	481	16
5	0	13	31	181	98	171	494	15.9	9	106%	482	15.5
6	0	3	20	160	107	152	442	14.7	2	98%	495	16.5
7	0	0	23	156	109	121	409	13.2	0	88%	481	15.5
8	0	0	45	158	92	151	446	14.4	0	96%	488	15.7
9	0	0	27	156	118	168	469	15.6	2	104%	453	15.1
10	0	3	45	130	127	164	469	15.1	9	101%	466	15
11	0	7	84	131	127	130	479	16	7	106%	465	15.5
12	0	16	61	114	111	145	447	14.4	2	96%	508	16.4

1	0	7	48	151	115	134	455	14.7	3	98%	448	14.5
2	0	6	40	127	82	131	386	13.8	0	92%	440	15.7
3	0	3	60	153	93	156	465	15	2	100%	478	15.4
合計	0	82	521	1760	1327	1774	5464	15	48	97%	5,685	15.6
利用率	0	2%	10%	32%	24%	32%					100%	—

(3) 看護部

令和 7 年度は、ご利用者が安心して生活できるよう①対策対応力の向上、②適切な ACP 実施、③専門性を活かせるチーム力向上を目標に掲げていました。

- ① に関しては、看護介護の協働にて様々な疾患を持っているご利用者の変化に対して対応できるよう個別研修を行ってきましたが、安全な生活を確保するため今後、定着・継続していくことが課題です。
- ② に関して、退所者が 43 名と例年にくらべ多い年でした。そのうち施設での 31 名の方のお看取りをさせて頂き、最期まで施設で穏やかに生活ができるよう、ご家族と話し合いながら取り組ませていただきました。
- ③ に関して、入院が年間 25 名おり、入院治療に時間を要した方もいました。早期対応対策が重要であること、できる限り慣れ親しんだ施設での治療対応が早期にできることが来年度の課題であるとも思います。昨年度から取り組んできたアロマケアは、ご利用者の気持ちに寄り添ったケアにもつながりました。

今後も、感染症対策対応を継続し、施設だからこそできるケアを中心に、医師・介護職、他部署と連携を図り、ご利用者にとって安心安全な生活が送れるよう施設看護としての役割が果たせるように努めてまいります。

■入院状況

病名	人数
肺炎	6
大腿骨頸部骨折	2
急性腎不全	1
洞性徐脈 高度房室ブロック	1
胃腸炎	1
敗血症性ショック	1
総胆管結石胆管炎	1
認知症	1
外傷性くも膜下出血	1
発熱	1
尿路感染症	1
精査目的	1
急性循環不全	1
脳卒中疑い	1
インフルエンザ脳症	1
インフルエンザ	1
消化管出血	1
大腿骨転子部骨折	1
上行結腸憩室炎	1
合計	25

■死亡人数・看取り状況

病名	人数
老衰	24
アルツハイマー型認知症	2
胃癌	1
パーキンソン病	1
大腸がん	1
呼吸不全	1
慢性腎臓病	1
合計	31
■退所者内訳	
退所者人数	43
・施設内	32
・入院退所	4
・入院死亡退所	6
・転居	1
看取り人数	31
看取り加算取得	28
看取り率	95%
入院延べ日数	643
月平均	53.6

■施設内診療・外来受診状況

《施設内》 (月平均延人数)

内科	32.3
精神科	32.5
歯科	100.8

《予防接種》 (人数)

インフルエンザワクチン	110
(特養、GH 含)	

《外来》 (月平均延人数)

内科	16.1
整形外科	2.5
皮膚科	2.1
眼科	1.4
ER	1.2
脳神経外科	0.8
泌尿器科	0.4
心臓血管外科	0.3
脊椎外科	0.3
脳神経内科	0.2
精神科	0.1
神経内科	0.1
耳鼻科	0.1

入所時健診	3.8
お誕生日健診	6.1

■その他 (人数)

経管栄養(胃ろう)	0
未使用者	0
経管栄養(鼻腔カテーテル)	0
経管栄養(胃ろう) SS	1

(月平均延人数)

リハビリ	116.0
点滴	0
血液検査	4.9
浣腸(特養/SS)	39.0/12.3
摘便(特養・SS)	40.8/2.8
インスリン(特養/SS)	3.4/5.5
血糖測定(特養/SS)	8.3/0
褥瘡	2.9
14日間重点期間改善	2.9
在宅酸素(特養/SS)	46.3/5.9
吸引(必要時)	5.0

(4) 栄養課

令和 7 年度は、行事食、選択食、郷土料理弁当等、継続しておこなった他に、調理担当職員が 2 人 1 組となり、特養各階(4フロア)を担当する取り組みを開始しました。担当階におけるご利用者の顔と名前を覚え、介護職と連携し、全ご利用者へ「食」の楽しみを企画・実施しました。

残菜調査は初めて夕食を対象とし、年 4 回おこないました。目標喫食率には、わずかに届きませんでしたが、昼食とは別の気づきを得ることができました。

食形態が 5 形態になり、作業は増えましたが、ご利用者、ご家族から食べやすくなったと評価をいただく事もあり、職員にとっても専門性を発揮、高めることができました。

物価高騰が続いており、ほとんどの商品が値上がりしました。献立・食材発注者と知恵を絞り、味・質は落とさず、栄養量も変わらず提供できる食材の見直しなどおこないました。

栄養管理につきましては、多職種と協働し、ミールラウンドやカンファレンス、関係する会議に参加し、個々人に合わせた対応をおこないました。

来年度は専門職としてのスキルを磨き続けるため、外部研修に積極的に参加し、美味しく、楽しく、笑顔になれる、一人一人に合った食事・栄養の提供を継続してまいります。

□ 食事の提供数(入所施設系)

月 / 項目	稼動日	特養	療養食	経腸栄養	ショート	SS デイ入退	職員	合計	前年度
4	30	8871	690	0	1201	9	332	11103	10928
5	31	8668	674	0	1163	8	368	10881	11260
6	30	8246	640	0	1029	11	353	10279	10899
7	31	8667	842	0	1016	7	372	10904	11306
8	31	8866	867	0	1122	6	355	11216	11270
9	30	8608	810	0	1204	11	367	11000	10761
10	31	8277	923	0	1111	8	309	10628	10866
11	30	7833	1039	0	1208	10	283	10373	10611
12	31	8075	1209	0	1136	9	304	10733	11274
1	31	8224	1281	0	1185	6	289	10985	10917
2	28	7842	939	0	1007	8	244	10040	9996
3	31	8783	991	0	1215	8	295	11292	11247
合計	単位: 食数	100960	10905	0	13597	101	3871	129434	131335
1 日平均	365	277	30	0	37	0.3	11	355	360
1 食平均	3	92	10	0	12	0.1	4	118	120

□ 食事の提供数(在宅施設系)

月/項目	稼動日	舟渡	東坂下	その他(舟)	その他(坂)	合計	前年度
4	26	1099	199	0	0	1298	1451

5	25	1017	173	0	0	1190	1405
6	25	1082	199	0	0	1281	1363
7	27	1178	220	0	0	1398	1473
8	27	1093	207	0	0	1300	1361
9	26	1125	218	0	0	1343	1233
10	27	1122	240	0	0	1362	1386
11	25	1083	202	0	0	1285	1311
12	24	1076	203	0	0	1279	1209
1	24	1016	201	0	0	1217	1142
2	24	976	210	0	0	1186	1111
3	26	1106	226	0	0	1332	1267
合計	単位:食数	12973	2498	0	0	15471	15712
1日平均	306	42	8	0	0	50	52
1食平均	1	44	8	0	0	50	52

□手作りおやつ(食数)

月	おやつ名	特養	舟テ ⁺ イ	東テ ⁺ イ	計	前年	計
4/13.17.21.26	桜ティラミス りんごゼリー 牛乳寒天	182	119	0	301	4月 杏仁豆腐 イチゴムース	217
5/10.11.16.18.20.25	わらび餅あんみつ オレンジゼリー ぶどうゼリー	234	131	0	365	5月 鯉のぼりク レープ クッキー	213
6/10.27.29	ぶどうゼリー ミルクティーゼリー 牛乳寒天	60	86	0	146	6月 いちごトライ フル クッキー	214
7/3.6.16	よもぎ蒸しパン 牛乳寒天あんみつ	60	78	0	138	7月 天の川ミル クプリン 牛乳寒天あ んみつ	166
8/5.12.21	クリームパン 白玉あんみつ	0	105	0	105	8月 冷やし汁粉	159
9/3.7.8.16	ジャムパン カレーパン 冷やし汁粉	120	113	0	233	9月 桃の蒸しパ ン クリームソー ダ	200
10/12.18.24	かぼちゃ蒸しパン かぼちゃババロア 栗ようかん	112	78	0	190	10月 かぼちゃバ バロア クレープ	203

11/4.8.9.20	りんご紅茶蒸しパン 焼き芋 いちごババロア	110	101	0	211	11月	モンブラン さつま芋蒸しパン	197
12/4.8.12.21	ガトーショコラ モンブラン 焼き芋	109	131	0	240	12月	お汁粉 シュトーレン	210
1/6.7.11.23	餅つき プリン スイートポテト	112	88	0	200	1月	餅つき 水ようかん スイートポテト	280
2/1.2.13.24	クレームダンジュ チョコ蒸しパン プリン チーズケーキ	116	131	0	247	2月	焼き芋 チョコフォン デュ ブラウニー	195
3/4.8.15.31	かぼちゃババロア あんみつ チーズケーキ チョコプリン クレープ	300	79	0	379	3月	水ようかん クレームダ ンジュ いちごババ ロア 桜もち クリームパ ン	276
計		1515	1240	0	2755	計		2530

□にぎり寿司

月	特養	舟デイ	計	前年計	特養	舟デイ
10	107	36	143	46	0	46
11	112	39	151	35	0	35
12	115	42	157	45	0	45
1	116	39	155	151	113	38
2	115	44	159	159	119	40
3	117	36	153	162	120	42
計	682	236	918	598	352	246

※にぎり寿司は1人前6カン ※生もの提供は10月から3月

□選択食実施回数・メニュー・特養

月	回数	選択メニュー	食数	計	前年計
4月	1回	たらの葱餡かけ	75	114	117
		鶏肉の葱餡かけ	39		
5月	1	ギョーザ	50	108	116

□選択食実施回数・メニュー・通所(舟渡)

月	回数	選択メニュー	食数	計	前年計
4月	1回	たらの葱餡かけ	35	43	39
		鶏肉の葱餡かけ	25		
5月	1	ギョーザ	30	56	37

	回	シューマイ	58		
6 月	1	紅茶ゼリー	54	112	118
	回	カルピスゼリー	58		
7 月	1 回	ナスと挽肉のカレー	46	117	117
		ガパオライス	71		
8 月	1 回	カレイ南蛮漬け	65	118	114
		鶏の南蛮漬け	53		
9 月	1 回	鮭のちゃんちゃん焼き	61	114	113
		鶏のちゃんちゃん焼き	53		
10 月	1 回	バナナ	52	118	117
		巨峰	66		
11 月	1 回	豚肉の生姜焼き	61	116	118
		麩の卵とじ	55		
12 月	1 回	スパイシーチキン	49	113	118
		照り焼きチキン	64		
1 月	1 回	チキンカレー	55	108	115
		クリームシチュー	53		
2 月	1 回	コロッケ	41	116	118
		カニクリームコロッケ	75		
3 月	1 回	プリン	65	114	116
		水ようかん	49		
計			136 8	1397	

	回	シューマイ	26		
6 月	1	紅茶ゼリー	28	45	36
	回	カルピスゼリー	17		
7 月	1 回	ナスと挽肉のカレー	19	48	38
	1 回	ガパオライス	29		
8 月	1	カレイ南蛮漬け	24	48	37
	回	鶏の南蛮漬け	24		
9 月	1 回	鮭のちゃんちゃん 焼き	45	57	38
		鶏のちゃんちゃん 焼き	12		
10 月	1	バナナ	13	61	41
	回	巨峰	48		
11 月	1	豚肉の生姜焼き	43	54	46
	回	麩の卵とじ	11		
12 月	0	スパイシーチキン	13	57	0
	回	照り焼きチキン	44		
1 月	1	チキンカレー	16	42	36
	回	クリームシチュー	26		
2 月	1 回	コロッケ	26	51	35
		カニクリームコロッ ケ	40		
3 月	1 回	プリン	17	62	54
		水ようかん	45		
計			62 4	437	

舟渡高齢者在宅サービスセンター

令和7年度、一般(ふじ・予防教室)は、大規模型通所介護費Ⅰとして、年間実績累計 10467 名・月平均 34.3 名を達成すべく、ご利用者の“自己選択”と“自己決定”の促進を継続し、スケッターに頼らず経費を削減し役割・活動・運動を選択しやすい環境整備を整えました。

認知症対応型通所介護(ひまわり教室)に関しては、月平均 10.47 名を達成すべく、医療ニーズに毎時応える事ができる体制や、認知症介護基礎研修、実践者研修の受講を目指しましたが、今期間、年間を通し多くの退職者、特に主任等のコアメンバー離職があり実現が難しい1年でした。次期は体制の安定と職員の業務平均化を、逆にこの機会を活かして実践していく事とする。

1. 受け入れ態勢の強化 一般・認知

詳細は下記に記載いたしましたが、一般が予算対比-248、認通は-2 という結果となりました。

認通は臨時、曜日追加でカバーするも年度末は稼働が大幅に低下。また要介護も昨年度は殆どいなかった要介護 1, 2 の方の受け入れ数の割合が増えてしまっている。

機能訓練Ⅰ 2・予防リハビリの稼働強化も前年比-12%(リⅠ-731 リⅡ-62)という結果となりました。

期間途中、機能訓練指導員の産休もあったが中途での OT 採用で評価等も遅延なく継続できている。

ただしその後看護士 1 名の退職など体制の変化が大きく、経管栄養等の医療ニーズの受け入れ強化や MCS 活用などは次年度の課題としている。

2. 職員育成 一般・認知

目標であった認知症介護基礎研修、実践者研修等の外部研修については体制が維持できず未着手。常勤職員中心の業務平均化の動きについては年度末より開始出来ており R8 年度に継続して行く。

3. 業務効率 通所全体

前年度に引き続き、東坂下通所との一体的なシフト編成により、双方の業務のムダ・ムラ・ムリをなくした業務構築ができました。ただし残業量の職員差は拡大している印象で次年度の業務平均化で緩和していきたいと考える。

1、実利用者数

月	稼働日	区分	要支 1	要支 2	予防計	介 1	介 2	介 3	介 4	介 5	介護計	総合計
4	26	一般型+予防	34	57	91	229	291	182	31	23	847	1119
		認知型+予防				23	44	56	53	96	272	
5	25	一般型+予防	43	50	93	208	284	155	50	26	816	1063
		認知型+予防				18	29	55	63	82	247	
6	25	一般型+予防	38	52	90	198	306	171	51	31	848	1111
		認知型+予防				20	34	53	65	91	263	
7	27	一般型+予防	31	77	108	223	322	169	57	32	911	1206
		認知型+予防				32	38	54	71	100	295	
8	26	一般型+予防	59	57	116	221	276	170	53	23	848	1111
		認知型+予防				26	36	56	52	93	263	

9	26	一般型+予防	40	68	108	218	303	168	45	17	869	1153
		認知型+予防				35	34	67	59	89	284	
10	27	一般型+予防	42	71	113	222	304	168	51	13	871	1167
		認知型+予防				35	38	59	69	95	296	
11	25	一般型+予防	38	65	103	237	284	171	58	15	868	1115
		認知型+予防				28	35	49	53	82	247	
12	24	一般型+予防	35	63	98	228	292	168	58	15	859	1102
		認知型+予防				31	37	52	31	92	243	
1	24	一般型+予防	33	66	99	237	266	139	46	15	802	1045
		認知型+予防				36	37	38	33	99	243	
2	24	一般型+予防	33	69	102	244	248	140	42	5	781	1007
		認知型+予防				24	43	38	27	94	226	
3	26	一般型+予防	37	74	111	259	300	165	46	18	899	1137
		認知型+予防				25	44	39	17	113	238	
計	305	一般型+予防	463	769	1232	2724	3476	1966	588	233	10219	13336
		認知型+予防				333	449	616	593	1126	3117	

※一般型 定員 50 名、認知型定員 12 名

1-2 サービス別(加算取得)

月	稼働日	区分	入浴	リハⅠ1	リハⅠ2	リハⅡ
4		一般	443		482	65
		認知型+予防	230			
5		一般	433		457	70
		認知型+予防	212			
6		一般	458		496	71
		認知型+予防	222			
7		一般	473		455	71
		認知型+予防	247			
8		一般	452		436	62
		認知型+予防	224			
9		一般	429		456	60
		認知型+予防	245			
10		一般	432		469	62
		認知型+予防	258			
11		一般	432		486	68
		認知型+予防	212			
12		一般	430		487	65

		認知型+予防	199			
1		一般	393		442	62
		認知型+予防	199			
2		一般	365		442	58
		認知型+予防	183			
3		一般	438		497	62
		認知型+予防	191			
計		一般	5178		5605	776
		認知型+予防	2622			

2. 活動報告

【基本活動】

NO	活動名	頻度	活動内容
1	カラオケ倶楽部	毎日	第一興商よりリースしている機材を変更し、カラオケだけでなく、嚙下体操や脳トレなどの豊富なコンテンツを利用時間帯通して楽しんでいただけた。
2	リハビリ体操	毎日	全ご利用者対象体操。(民謡体操・太極拳体操・リズム体操等) 集団にならず、自席から実施可能。

【選択活動】

NO	活動名	頻度	活動内容
1	個人カレンダー作り	随時	毎月翌月のカレンダーを季節に合った図案で折り紙、パステル、ちぎり絵、ポスターカラー等を使用し作成する。
2	屋内装飾	随時	季節に合わせた共同作品を作り掲示。色を塗るだけではなく、立体的な作品を混ぜることで、レベルに合わせた内容を展開することができる。
3	手工芸	随時	自宅にお持ち帰り頂けるような作品を中心に題材を準備。手先の器用な方に人気がある。
4	脳トレ	随時	個人ファイルを個々に準備し、計算・漢字・ナンプレ・組み合わせ・間違い探し等のプリントを行う。集団脳トレとして音読も新企画として実施。
5	編み物	随時	季節関係なく、長期的に作品を作り上げる。ご利用者が自主的に行う姿が多く見られた。
6	季節の塗り絵	随時	活動時間のみならず、空き時間を利用して作品作りを行う方が多く見られた。
7	趣味倶楽部	随時	オセロ 将棋 百人一首 トランプ かるた 花札 あやとり 囲碁 パズル 映画 知恵の輪の 16 種類の趣味活動を用意
8	裁縫	随時	布巾に刺し子をあしらったり、お手玉を作成したりと昔遊びの一環として実施する。
10	書道	随時	自主活動として教室内にブース展開。自主的に実施
11	水彩画	随時	花や風景等の下絵を筆と水を用いて濃淡をだしながら取り組む活動
12	大正琴	随時	大正琴を 10 台準備し、季節に合わせた楽曲を演奏する。活動の他に選択活動として自習の時間を作り、いつでも練習できる体制とした。
13	ピアノ	随時	卓上ピアノ 10 台準備する。ヘッドホンを使用することにより、自習することも可能とする。未経験者も積極的に参加され、人気の活動となる。

14	運動	随時	足漕ぎペダル フロアー歩行 握力測定 ダンベル 棒ストレッチの 5 種類の運動をブース展開によりいつでも実施可能
----	----	----	--

【固定活動】

NO	活動名	頻度	活動内容
1	墨絵倶楽部	毎月	講師による季節に合わせた内容の墨絵を実施。毎回味のある作品が生まれる。掲示し、1 か月後には個々に作品を返却していく。
2	生け花倶楽部	月 2 回	講師の先生をお招きして生花を活ける。参加者は花器を購入する倶楽部活動。
3	料理倶楽部	毎月	人数を絞り、5 階の会議室等を使用し昼食作りを行う。手続き記憶を利用。今期は厨房職員講師で昼食の副菜作りも行う。
4	おやつ作り	毎月	教室毎に内容を分けて作る。季節感のあるもの、ボリュームのあるもの等、様々な内容にチャレンジする。人気活動となる。
5	パン教室	月 2～3 回	講師を招き一般教室対象に人数分のパンを厨房と連携しながら作り上げる。※緊急事態宣言発令中は中止。
6	フラワーアレンジメント	月 1 回	申込制の活動。お花代の原価のみ頂き、自分の好きなようにお花を活けていく。作り終えた作品は持ち帰ることが出来る。
7	ゲーム活動	毎月	ゲートボール、風船バレー、ビンゴ大会、輪投げ、ワニワニパニック、玉入れゲーム、百人一首、紙相撲、旗上げゲーム、卓上ゲーム等楽しみながら、手足・指・頭を使い、軽運動を行う。個別で取り組める内容にて実施。
8	手話コーラス	毎月	馴染みのある童謡・唱歌を基に手話へ置き換えて行う音楽療法。
9	ハンドベル倶楽部	3 日間 / 2～3 カ月	ハンドベルセット 10 セット準備。季節の楽曲を人数制限なしで参加できるようにする。音が揃った時には達成感と連帯感が生まれる。
10	療育音楽	毎月	利用者さんに馴染みのある歌を歌う事で、季節感を味わい、昔を懐かしんで頂く。又タンバリン・鈴・カスタネット・ハンドベルを演奏することにより脳の活性化につなげるリクエスト曲も調査し反映させる。自席での実施に変更した。
11	誕生日会	毎月	利用者さんの誕生日月に皆でお祝いをし、メッセージカード(写真入り)を贈呈する。お配りして、全員でビンゴ大会を楽しむ。
12	絵手紙倶楽部	毎月	講師による季節に合わせた内容の絵手紙を作成。切手を貼って身近な方へ送ることができる。
13	園芸倶楽部	3 日間 / 2～3 カ月	季節ごとに花・球根・芝生・野菜等、土いじりの機会を設ける。不定期ではあるが、人気のある活動となった。
14	有料手工芸	1 回 / 3 カ月	完全申し込み制の材料費を頂く活動。干支に合わせた内容等、キットを使った活動。
15	茶道教室	毎月	講師を招き、作法を学ぶ。たてたお茶や茶菓子はおやつ代として徴収。
16	ワークショップ	2 か月 毎	手芸やアロマオイル作りなど、別途有償活動として新たに企画。
17	演芸鑑賞	毎月	コンサートや演芸などを実施。

3. 行事報告

月	行事名	場所	開催期間	参加述べ人数	ボランティア・他	行事内容
7	納涼祭	ふじ・ひまわり教室	7/26・27	57		納涼祭 盆踊り、模擬店等で夏祭りの雰囲気を楽しむ。また、職員の踊り(南中ソーラン節)を披露。
9	敬老会	ふじ・ひまわり教室	9/20	54		敬老会 健康と長寿を祝い、職員・ボランティアにてアトラクションや松花堂弁当を楽しむ。
12	年忘れお楽しみ会	ふじ・ひまわり教室	12/24・25	111		職員の歌、マジックショーを披露。
1	初詣	ふじ・ひまわり教室	1/10～15	302		北野神社へ初詣と施設内に鳥居や賽銭箱を設置。絵馬作り等も実施。
	新年餅つき大会	ふじ教室 ひまわり教室	1/5	54		午後に餅つき大会を行う。ついた餅とは別に栄養課からの汁粉を提供。

スケッター制度を終了し経費削減を図りながらも定着化した有償ボラを継続し、基本・固定活動をはじめ 29 項目の選択活動の毎時実施ができました。

4. 事故報告

内容/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
転倒	3		1			3		1		1	1	1	11
剥離・出血			2	1	1	2	1		1				8
異食													0
服薬関係				1	1								2
車両事故	1	1	1				1	1					5
忘れ物		1		2	3	1		1	1		1	1	11
連絡ミス			1										1
その他(離所等)	1	1	2	1	1		2	1	1				10
合計	5	3	7	5	6	6	4	4	3	1	2	2	48

インシデント(気づき) 報告件数

教室名/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ふじ教室	0	4	1	0	2	2	0	0	0	0	1	1	11
ひまわり教室	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合計	0	5	2	0	2	2	0	0	0	0	1	1	13

令和7年度は前年度と同様、剥離と転倒事故が多くみられました。4月にはLEVEL3の転倒・骨折事故もあり前年度の対策では対応しきれていない状況でした。急ぐあまり無理をした介助方法の原因が多く、二人での

介助や、補助アイテムの活用の徹底が必要と考えます。

また、低減していた「忘れ物」も昨年と比べ+7件と増加傾向にあります。

次年度はインシデントを数多く拾い上げ、レベル0以上の事故の低減を目指します。

舟渡ヘルパーステーション

(訪問介護/一般・総合事業)

(障害サービス/居宅介護・移動支援)

令和7年度は、ICTへの取り組みを引き続き行って参りました。必要書類の複雑な計算を簡略化できた事で、双方の時間効率が良くなり、チェックに係る時間の短縮化にも効果を出すことができました。

人員については職員紹介規定が改訂され、再アナウンスをはじめ、できる事は最大限に行っていく事を続けて参りたいと思っております。年度途中には新入職(登録ヘルパー1名:同じく登録ヘルパーからの紹介、非常勤1名:母親からの紹介)者も迎え、昨今の福祉業界の人員不足の中、とても嬉しい出来事となりました。R8年度も引き続き、現在在籍している登録型ヘルパー・非常勤職員の離職防止に向け、更なる職場環境の改善や効率化に尽力して参りたいと思います。

年間訪問件数に関しては、目標12,696件に対し11,957件の実績となりました。以前は多かった身体介護(要介護度の重い方の)の訪問も施設入所やご逝去により減少した事の影響が大きかったと思われます。振り替え率に関しては目標30%に対し月平均38.5%の達成率となっております。親身な対応を心掛け、必要な訪問をしっかりと補うスタッフの姿勢が振り替え率達成に繋がったと思います。

R8年度を迎えますが、新たに「筋肉質な経営」を念頭におき、日々の運営にあたりたいと思います。

令和7年度【重点施策・目標】1年後の姿

① (安全)に関して

毎月のリスクマネジメント会議の参加継続により、現場から抽出されたヒヤリハットや発生事故に対し、専門職の意見も参考にし再発防止がなされている。毎月の気付き件数40件、年間ヒヤリハット(レベル0)件数20件を目標として達成している。

② (経営)に関して

ケース(介護・予防・障害)の受け入れを継続し年間総訪問件数13,778件を達成している。

空き状況を把握する(情報を常に更新・見える化)事で収入最大化を保っている。ステーション業務において、ICT化・効率化により、移動費等の仕組みが再構築され時間・費用面の削減ができています。

③ (親身な対応)に関して

障害サービスにおいて、毎月の目標件数を達成(年間総訪問件数うち障害サービス総件数850件)。ご本人や相談支援専門員からのご依頼に対して積極的な受け入れが来ている。

ご利用者都合休に関して毎月30%の振替(介護・障害合算)を達成でき、必要なサービスが少しでも行き届く様に努められている。

<月別、サービス内容比率>

(上半期)・・・訪問比率(%)

項目/月	4	5	6	7	8	9
身体介護	30.5	33.0	30.0	32.6	34.9	32.9
介護中心	8.4	6.9	6.7	6.7	8.6	8.7
生活中心	21.2	22.4	22.2	20.8	20.2	17.8
総合事業	31.3	31.0	32.8	31.6	31.0	30.5
障害サービス	7.0	5.0	6.3	6.6	3.9	8.3

(下半期)・・・訪問比率

項目/月	10	11	12	1	2	3
身体介護	30.8	30.9	27.3	25.4	27.3	27.0
介護中心	8.5	8.2	7.0	6.7	7.6	7.1
生活中心	19.1	20.5	19.9	20.5	18.6	19.8
総合事業	31.2	31.5	33.4	36.4	35.9	34.6
障害サービス	8.9	7.3	10.1	9.6	9.6	11.0

※年度末には30%くらい稼働があった身体介護が20%台に減少しています。その分ニーズの多い総合事業の稼働が増えてきております。

<ワンコインサービス実績>

弊社の介護保険サービスをご利用されてる方の限定サービスではありますが、好評により多くのご利用があります。

令和7年度にご依頼が多かった内容

1位・・・衣替え・衣類整理 8件 1位・・・床拭き 8件 3位・・・窓拭き 6件
(同居家族あり)

その他ご依頼があった内容例

エアコンフィルター掃除 ・ ベランダ掃除 等

<定例会>

月	回数	内容
4月	1	事業計画について 事務報告・ご利用者について(書面配布)
5月	1	感染症について 事務報告・ご利用者について(書面配布)
6月	1	認知症について 事務報告・ご利用者について(書面配布)
7月	1	食中毒・脱水について 事務報告・ご利用者について(書面配布)
8月	0	お盆休み 事務報告・ご利用者について(書面配布)
9月	1	介護実技について 事務報告・ご利用者について(書面配布)
10月	1	事業計画中間報告 事務報告・ご利用者について(書面配布)
11月	1	接遇・虐待について 事務報告・ご利用者について(書面配布)
12月	1	事故発生・再発防止について 事務報告・ご利用者について(書面配布)
1月	1	緊急時について 事務報告・ご利用者について(書面配布)
2月	1	法令遵守・倫理について 事務報告・ご利用者について(書面配布)
3月	1	プライバシーと個人情報について 事務報告・ご利用者について(書面配布)

R7年度においても集合研修形式で勉強会を開催する事ができております。

法定研修に加えて実技勉強会についても実施する事ができています。

<個別勉強会>

R7 年度に関しては、訪問介護員のキャリアに応じたグループごとに、その方たちのレベルに応じた内容を学んで頂く事を実施しています。(計 4 グループで順番制)

<板橋区実地指導>

R7.7.24 に板橋区の実地指導を受けております。

事故報告件数

内容/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
転倒									1				
剥離・出血													
破損・紛失			1	1						1	1		
服薬関係													
訪問ミス										1			
忘れ物													
その他			1						3				
合計													

インシデント報告件数

内容/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
転倒													
剥離・出血													
破損・紛失													
服薬関係													
訪問ミス	1					1		1	2	1			
忘れ物				1									
その他	2		1								2		
合計													

気付き件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
気付き件数	41	54	44	41	34	42	39	36	48	47	43	43	512

R7 年度は、気付きの数はしっかりと上がっていたのですが、レベル 0 のインシデント報告として計上がやや少なかった印象があります。大きな事故に繋がる事はなかったのですが、来年度は更にレベル 0 のインシデント報告の数を増やす様に部署内で呼びかけが必要に感じます。

以前あった服薬に関する事故・インシデントは防ぐことができていますが、訪問時にお預かりしたポイントカード類の返却忘れのミスが目立っていたので、再発防止に向け仕組み作りが必要です。

かもめの家(グループホーム)

令和7年度は退所者5名、入所までの期間は平均42日(目標週間以内)と昨年度と同様、入所期間は1ヶ月以上と退所に対して入所が追い付かない状況が続きました。年間の入院日数は34日(前年比-221日)と大幅に軽減、空床の稼働をSS利用で埋めました。SS利用日数は84日と増加。年間17.6名(SS合算)と予算17.4名を上回る稼働で終わりました。

ご利用者支援としては、月4回以上の実施し、「メニュー決め」「買物」「調理」「出前」の4点を定着化することが出来ました。次年度はご利用者に「輝きの一瞬」を提供し、「楽しみのある生活」を実施していきたいと考えています。

今年度は全体会議をほぼ毎月実施する事が出来ました。引き続き、ご利用者支援に関する事、職場環境改善へ向けて意見交換、取り組み、認知症チームケアの話し合い等、活発な意見交換の場として運用していきます。

地域交流に関しては、月1回開催の「こども食堂」を中心に実施してきました。去年度に挙げた、「こども食堂」とリンクすることは実施する事が出来なかったのも、「こども食堂」をご利用している地域の方々へ「何かを開催する場を提供していく。」「共同して何かを実施していく。」という形に出来ればと考えております。

1. 入所状況

項目	利用者数		入 所		退 所		末日	延べ 利用	1日 平均	利用 率	稼働 日	利用 最大
月	男	女	男	女	男	女	在籍 数	人員 日数	(利 用人 数)	(%)	(日)	(利用 人数)
4	2	14					16	480	16.0	88.9	30	540
5	2	16		2			18	546	17.6	97.8	31	558
6	2	16				1	17	537	17.9	99.4	30	540
7	2	14					16	518	16.7	92.8	31	558
8	2	15				1	17	515	16.6	92.3	31	558
9	2	15		1		1	17	510	17.0	94.4	30	540
10	2	15		1		1	17	517	16.7	92.7	31	558
11	2	16		1			18	529	17.6	98.0	30	540
12	2	16					18	558	18.0	100	31	558
1	2	16					18	557	17.96	99.8	31	558
2	2	16					18	504	18.0	100	28	504
3	2	16					18	558	18.0	100	31	558
合計/平均	2	15.4	0	5	0	4	17.3	6329	17.3	96.3	365	6570

※空床を利用する「ショートステイ」実績は延べ名。GHと合算にて17.6名/日となる。

2. 退所理由

	入院	特養入所	老健入所	有料入所	GH入所	看取り	死亡	合計
男	0	0	0	0	0	0	0	0
女	1	0	1	0	0	2	0	0
合計	1	0	1	0	0	2	0	4

3. フロア別介護度状況

	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	計
2F	2	3	3	0	1	9
3F	1	4	1	1	2	9
合計	3	7	4	1	3	18

4. 年齢及び男女構成比

	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計	平均年齢
男	0	1	0	0	1	0	0	0	2	79.0
女	0	2	1	4	2	4	3	0	16	86.4
計	0	3	1	4	3	4	3	0	18	85.6

5. 事故発生件数

所属部署	2F			3F			合計		
事故内容	件数	%	前年比	件数	%	前年比	件数	%	前年比
転倒	12	26.7%	±0	4	8.9%	-5	16	35.6%	-5
転落	3	6.7%	±0	1	2.2%	-2	4	8.9%	-1
剥離・出血	2	4.4%	+2	2	4.4%	+2	4	8.8%	+4
誤嚥	0	0%	±0	0	0%	±0	0	0%	±0
異食	0	0%	+1	1	2.2%	+1	1	2.2%	+1
破損・紛失	1	2.2%	1	2	4.4%	+2	3	6.6%	+3
服薬関係	3	6.7%	-1	5	11.1%	±0	8	17.8%	-1
内出血・打撲	1	2.2%	±0	1	2.2%	+1	2	4.4%	+1
加害行為	2	4.4%	+2	0	0%	-1	2	4.4%	-1
離所・無断外出	0	0	-2	0	0%	±0	0	0%	-1
その他	3	6.7%	±0	2	4.4%	+1	5	11.1%	+1
合計	27	60.0%	+2	18	40.0%	-1	45	100%	-3

インシデント件数

	転倒	転落	剥離	誤嚥	異食	破損	服薬	内出血	加害	離所	その他	合計
2F	2	3	0	0	1	0	1	0	2	1	8	18
3F	6	1	0	0	1	0	2	0	0	1	15	26

今年度のレベル 3 以上の事故は 0 件で、前年比-3 件でした。

インシデント件数を増やすことにより、定期的な対策の見直しや、日頃の些細な気付きや事故に繋がる可能性がある事柄への気付きが増え、レベル 3 の重大な事故になる前に、対応する事が出来ていました。レベル 3 による入院

は発生しておりません。しかし全体の 35.6%は転倒事故を占めているので、引き続き、些細なことでもインシデントとして挙げ、職員がリスクを共有する意識と対策が講じられるようにしていきます。

7. 運営推進会議

	開催日	開催場所	内容
第 1 回	5/27	4F 多目的室	・事故報告(4月・5月) ・入居者状況 ・今後の予定
第 2 回	7/22	4F 多目的室	・事故報告(6月・7月) ・入居者状況 ・特定技能(取り組み)について ・今後の予定
第 3 回	9/30	4F 多目的室	・ご家族代表交代について ・事故報告(8月・9月) ・入居者状況 ・特定技能(取り組み)について ・今後の予定
第 4 回	11/25	4F 多目的室	・事故報告(10月・11月) ・入居者状況 ・取り組みについて ・今後の予定
第 5 回	1/27	4F 多目的室	・事故報告(12月・1月) ・入居者状況 ・来年度に向けて ・今後の予定
第 6 回	3/24	4F 多目的室	・事故報告(2月・3月) ・入居者状況 ・令和 8 年度「事業計画」について ・令和 8 年度「東坂下事業所組織図」について ・第三者評価 FB ・今後の予定

【運営推進会議委員】

板橋区職員	区職員
地域包括支援センター	志村坂上おとしより相談センター 所長
入居者代表	ご利用者
ご家族様代表	2 階 1 名 3 階 1 名
地域代表	志村五桜町会 町会長
民生委員代表	1 名
施設代表	所長、管理者、フロアリーダー

東坂下高齢者在宅サービスセンター

令和 7 年度は「質の向上」「働きやすい事業所(健康・安心・充実)」の 2 本の柱を中心に運営して参りました。

- ① 選ばれるデイとして年間平均稼働日実績 15.4 人/日を達成している。

新規 40 名/年 臨時 5.18 名/月 入浴 290 名/月

- ② 通所部門の連携にて「質の高い」ケアの提供、人材育成の両立。

(職員の勤続意欲 4.0 以上・仕事のやりがい 4.0 以上・職場の雰囲気 4.0 以上)

- ③ 地域事業に参画しており、地域共生の一助を担う拠点となっている。

- ① 結果として年間 4,865 名(予算 4,701) 1 日平均 15.8 名(予算 15.4)と予算達成となりました。

詳細は利用状況でお伝えしますが、年間予算に対し+164 名と前年比 235 名増加できた事から

ドア to 対応、全利用日入浴可、調理活動、洗濯サービスがニーズに合っている事が実証されました。

ただし大幅な利用増に現在の体制で追いつけず「活動の見直し」は未着手の部分が多い事は否めません。

- ② 通所部門としての連携及び効率化、業務負担軽減等を目的に「全員舟渡出勤」を進めましたが、実際は働きやすい職場環境とはならず、職員個々の雇用形態や役割に重点を置いた出勤体制としました。「全員舟渡出勤」に拘らず、柔軟な働き方を推奨した事は働き易く、職員の安心に寄与出来たと考えています。

- ③ 地域交流に関しては、会食形式という本来のスタイルへ回帰し、年 12 回実施しています。

他部署との連携も継続し、イベント(ボランティアによるクリスマスコンサート)で沢山の地域の方にお越し頂く事が出来ました。

1. 利用状況

R07 年度介護度別(実利用者数)												
月	稼働日	新規	終了	臨時	要介 1	要介 2	要介 3	要介 4	要介 5	介護計	予算	入浴
4	26	1	2	3	72	121	95	64	25	377	395	262
5	25	4	3	7	83	121	86	69	19	378	368	265
6	25	5	2	10	78	130	87	75	20	390	380	270
7	27	0	0	3	104	144	90	85	27	450	420	315
8	26	0	1	2	106	137	78	60	14	395	405	278
9	26	0	2	6	111	150	78	59	19	417	405	296
10	27	2	2	4	127	167	82	50	21	447	425	309
11	25	0	0	4	112	148	74	48	16	398	390	283
12	24	2	0	6	115	148	68	51	15	397	373	290
1	26	0	3	5	120	122	77	53	12	384	370	288
2	24	1	1	6	115	123	82	64	16	400	370	289
3	26	1	0	4	121	145	85	71	10	432	400	313
合計	307	16	16	60	1264	1656	982	749	214	4865	4701	3458
前年度		30	21	78	907	1256	1152	927	388	4630	4580	3197

総評の通り予算達成となっている。(予算対比+164)

前年度よりも新規数は少ないですが看護連携と stock での情報共有で体調不良や入院等の長期離脱者、終了者が少なかった事、昨年度と同様に地道な追加利用が成功の要因と考えます。

入浴実施数は稼働増に伴い、前年度より大幅(+339 名)に増加しております。

尚、機能訓練については生活リハビリを利用毎/全員に加算なしで実施しています。

2.活動報告について

【ボランティア】

NO	活動名	活動頻度	活動内容
1	落語ボラ	毎月	高座にて本格的な落語を鑑賞して頂きました。

※活動について

一般デイとして 活動の「半自己決定・自己選択性」を展開。

予定表には一定の記載をしてあるものの基本的な活動が月初から月末まで好きな時に行えるシステム。

【カルチャー活動①】

NO	活動名	活動月	活動内容
1	手工芸	通年	季節感をテーマにした手工芸を実施しました。
2	カレンダー作り	毎月	季節のイラストを毎月用意し、塗り絵を行いながら日付を記入して製作する定番の活動です。 週 1 回の利用で完成できない方も継続して行えるよう余暇時間でも引き続き行える仕組み。
3	園芸	通年	季節の花を植え、ウッドデッキスペースにてご利用者が水やりを実施しています。役割や楽しみ、季節感を味わって頂いています。
4	屋内装飾	毎月	フロア内の天井・壁にそれぞれ季節感溢れる装飾を掲示。 また、巨大な壁紙の装飾を実施。 「優しいケア」のメッセージも盛り込まれています。
5	季節の塗り絵	毎月	個々の作業レベルに分け塗り絵を提供。塗った作品をフロアに展示。
6	書道	毎月	四季に沿ったテーマで書道の見本を用意し毎月実施。 6 月に全国書画コンクールに出展し受賞者は写真付きカラーコピーの賞状を飾り毎日新鮮な気持ちで輝きの 1 日に寄与しています。好評の「ペン習字」も継続。

【カルチャー活動②】

NO	活動名	活動月	活動内容
1	坂下クッキング	毎月	毎月火・木・土曜日に実施。自分たちで昼食を作る事での楽しみとリハビリ効果が狙いの活動です。
2	手作りパン工房	毎月	毎月火・木・土曜日に実施。 パンの内容決めから、作る作業までを実施。

【リハビリ活動】

NO	活動名	活動月	活動内容
1	スポーツレク	毎月	「輪投げ」「ボウリング」「風船バレー」等、身体を使いながら集団で取り組むプログラムを展開。
2	レク体操倶楽部	毎日	タオル体操・ボール体操・口腔体操をメインに実施。
3	脳トレ	毎月	計算問題・迷路・熟語等多彩なジャンルから個々が自由に取り組んでくださいました。答え合わせも行いながら、ご利用者の自信にも繋がる仕組みがあります。

【音楽活動】

NO	活動名	活動月	活動内容
1	季節の歌	毎月	季節に応じた歌集を個々に用意し、アカペラで唄う活動。発声の練習にも効果。
2	療育音楽	毎月	楽器を使い、発語訓練を導入しながら音楽を皆で楽しむ活動展開。

【自由活動】

NO	活動名	活動月	活動内容
1	シネマ坂下	毎月	映画館と似た雰囲気にて白壁に映像を写しながら、ご利用者の希望に沿ったタイトルを放映。「昭和歌謡シリーズ」が人気タイトルとなりました。
2	防災訓練	毎月	火災時訓練や地震時訓練を中心に実施。地震や火災・洪水の想定も実施。
3	外出	4月～7月 9月～3月	お天気の良い日に近隣へのお散歩などを行っています。
4	読書	毎月	主に余暇時間に本棚から好きな本を選んで読んで頂きました。
5	趣味倶楽部	毎月	かるたやトランプ等のテーブルで展開できる活動を実施。特にかるたはご利用者と1ヶ月かけて文章、デザイン全て手作りで人気があり、お正月だけではなく現在も継続して行っています。

行事

月	行事名	開催日数	行事内容
7	納涼祭	1日	夏、お祭りの雰囲気をお食事とイベントで感じて頂く
9	敬老会	2日	健康と長寿をお祝い

12	年忘れ会	3 日	昼食は特別メニュー
1	餅つき大会	1 日	餅は飾り用で使用 おやつは白玉汁粉で代替
3	花見外出	適宜	

3.令和 7 年度 事故報告総括

事故報告

内容/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	昨年
転倒転落	3	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	5	4
離所	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
忘れ物	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6
服薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
連絡ミス	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
車両関連	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
加害行為	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
異物混入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
破損紛失	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
合計件数	4	0	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	10	13

インシデント

内容/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	昨年
転倒転落	0	0	6	0	0	10	1	0	0	0	0	0	16	0
離所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
忘れ物	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
服薬	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	0
確認ミス	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
車両関連	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
加害行為	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
異食	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1
処置	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
合計件数	0	0	9	0	0	10	4	0	1	0	1	0	25	1

稼動が増えたが、転倒による骨折等の重大事故には繋がっていない。重大事故を防ぐ為、インシデントを意識的に挙げ、職員へ周知、意識付けした事が結果として繋がっていると考え。離所が 1 件あり、早期に気が付いたことで近隣での発見することが出来たが、一歩間違えば交通事故や転倒による外傷など重大事故に繋がる可能性があった。対策としては施錠して出られないようにするのではなく、ご本人が集中できる事や役割作り等の支援を中心に課題として取り組みを進めています。

4.運営推進会議開催について

- ・当事業所運営推進会議を年2回実施。基本、GHと日程を共同開催となります。

運営推進会議

	開催日	開催場所	内容
第1回	9月開催 (R7.9.30)	書面配布	・事業計画、中間報告。 ・事故報告について(上期) ・その他
第2回	3月開催) (R8.3.24)	書面配布	・令和8年度事業計画 ・令和7年度実績報告 ・その他

【運営推進会議委員】

板橋区職員	区職員
地域包括支援センター	志村おとしより相談センター 吉田様
ご家族様代表	(現在代表不在)
地域代表	志村五桜町会 町会長 猪田様
民生委員代表	森山様 青山様
施設代表	宇津木(法人施設長) 平田(事業所所長) 吉田(管理者)

5 地域向け事業について

「会食形式」開催。(経営支援補助金対象)

開催日	曜日	内容	メニュー	利用数	職員
4/17	木	会食形式	カレーライス	8	5
5/15	木	会食形式	カレーライス	19	6
6/19	木	会食形式	カレーライス	11	6
7/17	木	会食形式	ハヤシライス	13	5
8/21	木	会食形式	冷やし中華	9	6
9/18	木	会食形式	豚丼	16	4
10/16	木	会食形式	かぼちゃカレー	17	4
11/20	木	会食形式	お好み焼き	33	5
12/18	木	会食形式	玉子サンド	43	4
1/15	木	会食形式	キーマカレー	26	5
2/19	木	会食形式	チキンライス	33	6
3/19	木	会食形式	ちらし寿司	31	5
計 12 回				259	61

板橋区舟渡おとしより相談センター
(地域包括支援センター)

1.令和 7 年度 事業の動向

新規ケースについて、支援方針を立て、チームアプローチの充実を図るよう取り組んだ。

ケース検討の機会を確保するため、事務員(非常勤)の加入により、専門職の電話、事務作業軽減を図った。

二名で各事業に取り組む体制とし、運営に関するほぼすべての裁量を付与し、役割分担を行ったことで職員個々のスキル向上、チーム力の向上ができ、多種多様な業務に取り組むことができた。

2.相談件数

(件数)		令和 7 年度	令和 6 年度	前年比
来所		97	138	-41
電話		2314	1054	1260
訪問	給付管理対象者	1874	2278	-73
	給付管理対象者外	477	682	-205
	小計	2351	2960	-609
上記以外の方法		84	72	-12
合計		4846	7184	-2338

3.活動実績推移

名称	高齢者人口		介護予防実績	
	65 才以上	75 才以上	予防給付管理件数	月平均
R3 年度	7927	4224	4471	373
R4 年度	7901	4432	4198	350
R5 年度	7856	4624	4225	352
R6 年度	7839	4689	4663	389
R7 年度	7579	4798	5133	428
前年比	-206	-109	438	37

4.相談内容内訳

No.	項目名	令和 7 年度	令和 6 年度	前年比
1	介護保険制度	91	96	-5
2	介護保険要介護(要支援) 認定	534	598	-64
3	介護保険在宅サービス	1469	1598	-129
4	介護保険施設サービス	44	56	-12
5	介護・福祉サービス	57	68	-11

6	福祉用具・用品・住宅改修	212	370	-158	5. 地区ネットワーク会議
7	みまもり支援サービス	230	228	2	
8	一般介護予防	48	50	-2	
9	総合事業	605	537	68	
10	老人ホーム(介護保険外)	0	0	0	6. 相談協力員研修
11	医療・保健	446	570	-124	
12	就労・生きがい	7	10	-3	
13	経済	47	45	2	
14	住宅	25	39	-14	
15	生活・家庭	424	319	105	
16	成年後見制度	27	20	7	
17	やむをえない措置(老福法)	0	0	0	
18	地域福祉権利擁護事業	1	3	-2	
19	権利擁護関連その他	22	18	4	
20	認知症相談	75	69	6	
21	虐待・緊急対応	38	47	-9	
22	消費者相談	1	4	-3	
23	地域密着型サービス	11	1	10	
24	その他	3178	90	3088	
合計(件数)		7592	4836	2756	

開催期間	場所	テーマ		参加人数
9月4日 13:30-14:45	高島平地域センター1階	＜開催目標。地域包括支援センターだけでなく、“多職種協働”で“フレイル予防”の啓発に取り組めるような、仕組みづくり。		13名
開催期間	場所	テーマ	対象者	参加人数
10月22日 14:30～15:45	蓮根ロータスホール	「高齢者サービスについて・訪問調査状況について意見交換」 (蓮根おとしより相談センターと合同)	民生児童委員	21名

7. 小地域ケア会議(舟渡おとしより相談センター主催)

開催日	時間	場所	事例テーマ	事例提出	出席数
2月18日	14:00～15:30	高島平区民センター3階ホール	「生活費に制限があり、適切な社会資源の導入が不足している単身認知症高齢者」 事例提供者：G-care プランセンター	舟渡おとしより相談センター	24名

8. 包括的継続的ケアマネジメント

・ケアマネジャー支援・・・令和3年9月から「ケアレンジャー舟渡」の活動を開始。地域の介護支援専門員(主任介護支援専門員を含む)と協働で研修などの企画・運営を行う。(隔月1回)

開催日	時間	場所	テーマ	参加人数
11/20	14:00～15:30	高島平区民館 3F ホール	「ケアマネの仕事って何だろう？」	49名(ケアマネ21名、訪看18名、ヘルパー12名、包括3名、薬局7名)

9. 認知症への支援

・認知症サポーター養成講座

<小中学校>

開催日	対象	人数
11/17	志村五中 9年生	96名
12/12	高島第一小 6年生	63名
2/10	新河岸小 4年生	25名
3/12	高島第一中 9年生	68名

<城北職業能力開発センター板橋校>

開催日	対象	人数
5/23	介護サービス科生徒	15名
10/24	介護サービス科生徒	18名

10. その他

<元気力測定会> 元気力チェックシート、測定会実施、短期集中講座案内

日時	場所	対象	参加
6/11 11:15～11:45	舟渡ホール	地域住民	27 名
7/18 10:00-12:00	新河岸第一集会所	地域住民	19 名

< 出前講座 >

(小中学校への出前講座)

開催日	対象	人数	
11/17	志村第五中 7年生	138 名	ヤングケアラー
1/23	舟渡小 4年生	86 名	高齢者体験(認知症、視覚障害、 車椅子、手洗い)
2/10	新河岸小 6 年生	25 名	キャリア教育

舟渡居宅介護支事業所

1. 契約状況

・令和7年度の給付管理数については、職員1名が退職、職員1名が長期休暇となり、その後の補充はなく、5月より新規受け入れを休止としました。その為、予算は未達(▲25)となりましたが、職員1人当たりの担当件数が3月時点で45.25件と減算ライン手前までとなりました。新規受け入れ休止に伴い相談件数も75件と大幅に減少しました。

・年間を通じ板橋区舟渡、蓮根、高島平、三園各おとしより相談センターをはじめ、近隣医療機関・本人・家族からの依頼、他問題ケース含め受託しました。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年	前年比
契約者数	267	270	271	272	270	263	261	262	265	255	269	272	3,197	3,693	87%
新規	4	9	0	2	3	1	0	0	5	5	7	6	42	105	40%
終了・停止	11	13	10	5	7	12	10	7	18	25	16	10	144	78	185%
再開	0	4	2	3	2	1	5	1	1	1	2	1	23	84	27%
給付管理者数	253	253	245	245	243	233	228	222	210	191	184	181	2,688	3,515	76%

2. 訪問調査件数

・板橋区 50 件、他自治体 0 件を実施、計 50 件を実施しました。

・COVID-19 の影響で、認定有効期間の延長措置がとられていたが、10 月より延長措置が終了となり、大幅に区内の認定調査件数が増加した。また認定調査の費用対効果から率先して他自治体の認定調査を受ける必要性がないと判断した。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3	4	2	0	3	2	4	4	6	4	2	1	35

3. 給付管理業務

・介護度により前年比増減が異なります。

・要介護1、要介護2の利用者数が全体の給付管理者数の約半数を占めている状態です。

・要介護4、5の利用者数が前年度より増えております。

・予防委託ケースが全体給付管理数の約7%の状態。舟渡包括からの委託ケースを停止しました。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合	前年	前年比
要支援1	12	12	12	12	12	11	12	11	11	10	8	7	130	5%	86	151%
要支援2	14	15	14	14	16	13	12	11	7	7	7	7	137	5%	180	76%
要介護1	69	72	66	67	65	65	63	62	63	60	60	63	775	29%	1,180	66%

要介 護 2	79	73	73	71	73	69	68	70	65	61	60	58	820	31%	966	85%
要介 護 3	34	34	34	32	32	31	33	29	25	22	22	19	347	13%	388	89%
要介 護 4	27	28	26	25	23	24	22	22	22	17	16	13	265	10%	374	71%
要介 護 5	18	19	20	24	22	20	18	17	17	14	11	11	211	8%	340	62%
合計	253	253	245	245	243	233	228	222	210	191	184	178	2,685	100%	3,514	76%

4. その他

・7/24、板橋区による実地指導あり。特定事業所集中減算を回避し、特定事業所加算Ⅱの運営基準を遵守しました。

5. 研修

COVID-19も落ち着き、集合型の研修や交流会も増えてきている。

- ・舟渡地区ケアマネジャー研修会・事例検討会(6月・7月)
- ・おとセン主催「新任 CM 向け研修」、「2024 年度制度改正が居宅業務に与える影響」
- ・高島平ケアマネジャー交流会(11月、3月)
- ・志村地区事業者交流会(11月)
- ・坂下地域特定事業所合同研修(10月)
- ・舟渡地区ケアマネ研修交流会(10月)
- ・おとセン主催研修(5月、11月、12月)
 - ・高島平包括主催
 - ・東京都主催「ケアマネジメントの質の向上研修」(2月)
 - ・舟渡包括主催 小地域ケア会議 (2月)
 - ・舟渡包括主催 ケアマネ交流会(5月、11月)
- ・蓮根ケアマネカフェ(5月、6月、8月、2月)、小地域ケア会議
- ・BCP セミナー(7月、8月、9月)

6. 勉強会

①施設内

- ・事業計画説明会 (4月)
- ・事業計画中間報告会 (9月)
- ・TQM研修(12月)

②その他、勉強会につきましては、上記研修後に各担当者が勉強会を開催している。

7. 会議等

- ・週 1 回定例会開催
- ・他法人との勉強会及び研修会の調整会議を都度行う。

坂下ゼミ(10月)